



**カツオドリ** *Sula leucogaster*

小笠原諸島で代表的な海鳥。ペリカンの仲間では翼を広げると 1.4m になる大型種です。くちばしのつけ根の色が雄雌で違い、雄は青色で、雌は黄色です。鳴き声は「グアッ、グアッ」。羽ばたきと滑空を繰り返しながら飛びます。上空で餌を探し、頭から豪快にダイビングしてトビウオやイカなどを獲ります。離礁の崖に小枝や草などで簡単な巣を作り、親鳥は交代で卵を暖めます。真夏の子育てですから、幼いヒナが太陽に当たりすぎないように親鳥は体で日よけになります。



大きな鳥は  
はばたくことなく  
崖っぷちに降り立ち  
長い翼を折りたたんで  
こちらを向きました  
カツオドリです

ネコはその鳥の大きさにたじろぎ  
体を縮めて固まりました

眠っているカツオドリを見ているうちに  
空腹であることを  
思い出したネコは  
おじけづいた気持ちを忘れ  
ひとつとびに  
その鳥に食いつきました





あっけなくつかまったカツオドリを少し離れたやぶの中へ運び  
ネコは夢中で食べました  
次の夜もその次の夜も、カツオドリをつかまえては同じやぶの中に運び  
翼を残して食べました  
巣穴の中でじっとしているオナガミズナギドリも  
かたっぱしから食べました



写真：ネコが食べ残したオナガミズナギドリの翼

### オナガミズナギドリ *Puffinus pacificus*

南方の海域に広く生息する、翼を広げると1mほどの中型の海鳥です。空気抵抗が低いグライダーのような細長い翼で、羽ばたかずに長時間飛び続けることができます。繁殖期以外は海上で生活します。魚群の上に群れをつくる習性があり、漁師が漁場を探す助けになります。夜間、繁殖地では「ミャウー」という猫のような声で呼び合います。人の立ち寄らない草地や裸地に、くちばしと足で穴を掘って巣を作り、集団繁殖します。自然にできた石灰岩の空洞も利用します。卵は雌雄で暖め8月初旬にヒナが孵ります。数日するとヒナは置き去りにされ、親鳥は夜に帰ってきて餌を与えます。夜も飛ぶ種類で、父島や母島の集落地に夜間不時着することが多いです。

南崎のトリというトリを  
食べつくしてしまったネコは  
またおなかがすいてきました



そこへ  
いいにおいが漂ってきたので  
ネコはそのにおいの元をたどってみました  
そこには見たことのない箱の中に  
おいしそうなお魚が入っていました